

たけのこだより

京都市立竹田小学校
校長 大西 一幸

平成30年3月

平成29年度 後期学校教育アンケートの結果を振り返って

保護者の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。1月末にご協力いただきました学校評価の結果をまとめましたので、お知らせします。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

今年度のアンケートは学校教育目標「めざす子ども像『夢に向かって輝く、竹田っ子～「夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子」をめざして～』を具現化するために、学校や家庭で大切にしたいことを児童・保護者・教職員がそれぞれ自らをふりかえることができる項目・内容をたずねる形式で実施しています。

学校教育アンケート（児童・保護者・教職員）の結果
※重要度は「重要である」「やや重要である」を合わせた数値、
実現度は「よくできている」「大体できている」を合わせた数値

質問項目	保護者重要度	教職員重要度	児童実現度	保護者実現度	教職員実現度
1 授業にまじめに取り組む、勉強がわかっている	90%	100%	95%	71%	100%
2 家で必ず宿題や自主勉強をしている	58%	100%	94%	76%	100%
3 本をよく読んでいる	98%	100%	81%	72%	100%
4 まわりの人にすすんであいさつをしている	98%	100%	80%	84%	100%
5 約束やきまりを守っている	99%	100%	92%	59%	100%
6 早寝・早起きをし、ごはんをしっかり食べている	99%	100%	91%	79%	100%
7 スポーツや外遊びで、からだを動かしている	100%	100%	90%	85%	70%
8 友だちとなかよく遊んだり、勉強したりしている	99%	100%	94%	79%	100%
9 家の人とよく話している	99%	100%	97%	81%	90%
10 困ったときは先生に相談している	100%	100%	83%	89%	92%

※グラフのポイントは、
実現度「よくできている」「大体できている」を合わせた数値

重要度の集計結果から

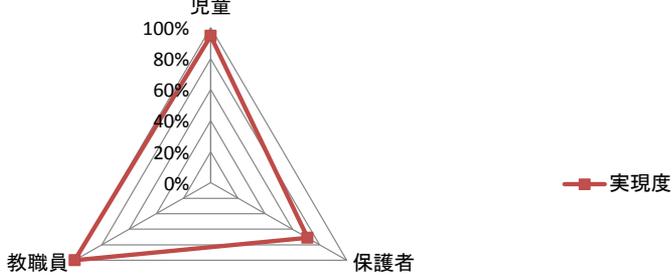
【保護者・教職員のみ】

保護者の方は、質問項目②については58%でしたが、他の項目については、どれもほぼ100%の重要度でした。質問項目②は家庭学習についての質問で、前期の68%から働きかけの重要度が下がっています。学習の定着を図るためには家庭学習が重要です。家庭学習について今後も共に考えていければと思います。教職員は、全項目とも100%でした。

実現度の集計結果から

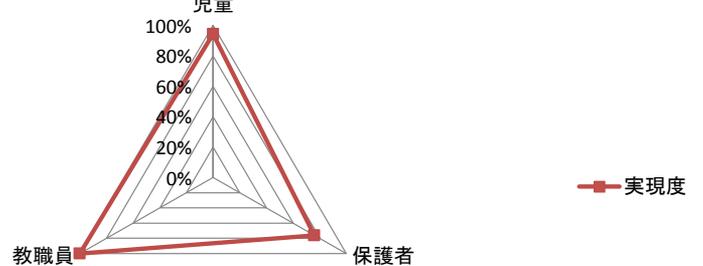
児童の実現度では、80%台が2項目（④あいさつ、⑩先生に相談）、90%台が8項目で、前期と比較して5項目で実現度が上がっていました。⑤「約束やきまり」の項目で5%上がっていました。保護者の実現度では、質問項目⑤「約束やきまり」が59%となっていますが、前期と比較して8%上がっていました。特に⑨「家の人と話す」が大きく11%上がっていました。教職員の実現度では、⑦外遊びの項目で70%となっていました。その他⑨項目では90～100%となっていました。①授業、③本を読む、⑥早寝、早起きの項目で前期より大きく上がっていました。

①授業にまじめに取り組む、勉強がわかっている



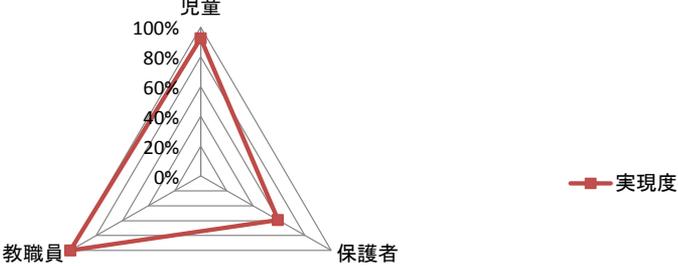
児童の回答では「よくできている」が41%、「大体できている」が54%、保護者・教職員は「大体できている」が保護者59%、教職員91%で一番高くなっています。後期は漢字検定などの具体的な声かけがあったためと思われます。今後も取組内容を保護者の方と共有し、学習内容のさらなる定着が図れればと考えています。

②家で必ず宿題や自主勉強をしている



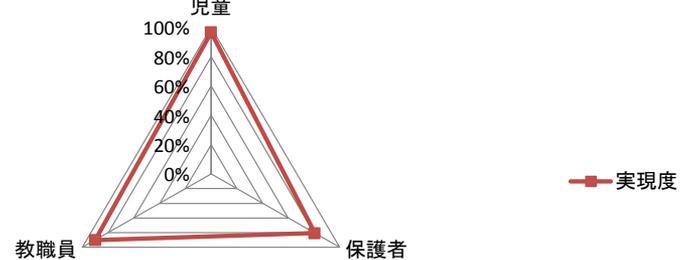
保護者の回答では重要度が10%、実現度が7%下がっていました。児童の前期と後期の回答を比較すると、前期は「よくできている」が41%、「大体できている」が54%となっており、前期後期とも「よくできている」「大体」を合わせた数値はほぼ同じですが、後期は「大体」が28%減り、その分が「よくできている」の71%に移っています。「よくできている」と回答している児童が増えています。引き続き保護者からの声かけ等をよろしく願います。

⑤約束やきまりを守っている



前期と比較して、保護者の重要度が100%に近づき、保護者の働きかけの実現度が8%上がり、児童の実現度が92%と前期より5%上がっています。約束やきまりのねらいや理由についての理解や働きかけが課題とされます。家庭での働きかけが変化として表れていると思われます。引き続き、児童が納得したうえで約束やきまりとなるように働きかけを進めていきます。

⑨家の人とよく話している



前期と比較して、保護者の重要度が3%、働きかけの実現度が「よくできている」「大体できている」ともに増加し、11%上がっていました。児童の実現度も97%と前期より3%上がっており、そのうち76%が「よくできている」と回答しています。児童は家庭で話す機会が増えていることを実感しているようです。

自由記述欄から

(いただきました全てのご意見は教職員全員で共有しております。)
「安全面」「家庭学習の習慣化」「ホームページの更新」「自主学習の内容」「学校図書館の充実」「子どもたちの行動」など、ご意見やご指摘を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かしていきます。

学校運営協議会理事会より

学校教育目標にある「夢」の実現に向け、子どもたちが様々な人と関わりながら体験のできる行事や「夢」の実現を支える学力向上への取組などを充実させていってほしい。そして、引き続き多くの目で見守るように家庭・地域・学校が協力して声かけをしていきたい。

学校教育アンケート全体を通して

今年度のアンケートから自己評価をする形式となり、2度目とはいえ回答の判断の難しいところもあったかと思えます。保護者アンケートの記述から、「子どもへの関わり方、働きかけを振り返るいい機会となりました。」という感想や「声かけの仕方が難しいです。」といった課題についての記述もいただきました。本校で実施している「ほっこり子育て広場」などで、子どもたちへの関わり方などについて交流し、子どもたちの理解とともに働きかけについても一緒に考えていければと思います。前回のアンケートを受けて、子どもたちへの働きかけが変化したことにより、実現度に表れ始め、「よくできている」と子どもたち自身が実感している姿が見られるようになってきました。大人が子どもをほめ、後押しするなどの働きかけは大切なことです。これからも家庭と学校とが連携し、今後も子どもたちを見守っていければと考えています。